

第65回秋田県公民館大会・第55回秋田県仙北地域公民館大会・ 第38回大仙仙北地区生涯学習推進研究大会

(平成27年10月16日 仙北市)

仙北市立角館公民館館長(秋田県公民館連合会会長) 鈴木 孝昭

平成26年度まで秋田市が担当していた県公民館連合会事務局が、平成27年度より県内郡市公民館連合会(広域単位)で持ち回りとなり、その最初の当番館が当角館公民館となりました。県の公民館大会という大事業の開催とともに、秋田県仙北地域公民館連合会(以下「仙公連」と呼ぶ)の持ち回りによる地域大会とも重なり、事務局として非常に責任重大な年となりました。

● 大会テーマと事例発表について

「魅力ある地域づくりと笑い」というテーマに決め、多くの関係者に周知しました。楽しく生涯学習ができる環境作り、笑いや地域の資源を生かした魅力ある地域づくりを目指した大会にしたいという思いを込めました。

毎年仙公連で行っている3つの事例発表(行政・学習・生涯)にない、仙公連から武藤真利子西木公民館長(行政)、佐藤誠なでしこ大仙・ネオビート協和代表(学習)、照井律美郷町生涯学習奨励員(生涯)の3名に発表をお願いし、併せて県内他地区を代表して、小坂町・亀沢修教育委員会事務局長にも事例発表をしていただきました。

亀沢事務局長からは、自分自身も関わってきた小坂鉄道保存会の設立から発足までの活動内容等について、武藤館長からは、仙北市三公民館(田沢湖・角館・西木)の詳しい活動内容を、佐藤代表からは、スコープ三味線やヤートセ祭りなどの活動を、照井奨励員からは、旬の食材を使った寒天作りの生涯学習講座をとおした仲間づくりについて、それぞれ多種多様な興味深い活動の発表をいただきました。

今大回の事例発表は、仙公連大会で行っている例年の三事例発表にプラスして県北地区の発表を加えることができ、県内の公民館、生涯学習活動の充実度を確認できたことにより一定の評価が得られたのではないかと思います。

● 基調講演について

今回の基調講演は、五城目町出身で昨年の国民文化祭イベントなどにも出演し大盛況を博した、五城目のトメさんこと小玉進氏にお願いしました。小玉氏には秋田の題材をはじめとし、秋田のことばを使ったギターの弾き語り漫談を行っていただきました。会場の参加者を笑いの渦に巻き込みながら地域づくりの大切さを語り、大会を大いに盛り上げてくださいました。

● 大会を終えて

近年、社会情勢の移り変わりや、人口減少、少子高齢化などの問題が少なからず公民館活動や地域コミュニティづくりに影響を与えてきています。公民館施設の多くは複合施設であり、全国的には施設の指定管理者化等により、公民館のあり方に変化が出てきています。

平成27年は、戦後70年という節目の年であり、戦後に公民館が果たしてきた役割も見直すべき時期に来ていると思います。

今後は、新たな人材養成等の取り組みが求められているとの認識でネットワークやコミュニティの再構築を進める必要があるということを「大会宣言」により再確認いたしました。

最後に、大会を盛り上げていただいた出演者、参加者の皆様、また、今大会を開催するにあたり、ご支援ご協力いただきました関係者各位に心よりの御礼と感謝を申し上げます。



事例発表：小坂町教育委員会事務局長 亀沢 修 氏



基調講演：五城目のトメさんこと 小玉 進 氏

(平成27年12月11日)

「ふるさと秋田の元気を創る！」

～ 学びと行動が結び付いた“協働”の仕組みづくりを目指して ～

県生涯学習センター社会教育主事 高木 寛

毎年開催している生涯学習・社会教育研究大会に、昨年から地域で活躍する行動人が加わって、今年の大会には、200名を超える参加者が集まりました。基調講演、交流タイム、パネルディスカッションと盛りだくさんの内容で活発な交流が行われました。

基調講演

「学び・行動・協働が地域の元気を創る」

講師／香川大学生涯学習教育研究センター長・教授 清 國 祐 二 氏

学校教育と社会教育が、両輪となって生涯学習社会を実現していくべきことや、「コミュニケーション」「信頼関係」「交流」「協働」といった地域の元気を創るために欠かせないキーワードをちりばめながら、たいへんわかりやすくお話しくださいました。清國氏の穏やかで優しい語り口調と、ふんだんに盛り込まれた先進的な情報は、多くの参加者から共感の声をいただきました。



パネルディスカッション

◆「まちの未来を担う子どもたちを地域社会全体で育てる」

東成瀬村社会教育委員・学校支援地域本部コーディネーター

高 橋 かおる 氏

◆「ふるさとの良さを学び、活かし、伝える」

にかほ市生涯学習奨励員協議会会長・にかほ探検隊隊長

伊 藤 良 孝 氏

◆「一人ひとりが輝ける場所づくりをめざして」

能代市上町自治会会長・のしろ白神ネットワーク代表

能 登 祐 子 氏

☆コーディネーター 香川大学生涯学習教育研究センター長・教授

清 國 祐 二 氏

高橋氏は、自身のもつ幅広いネットワークを活かして、地域の小中学校への支援をしてくださる住民を紹介したり、年中行事の体験授業を企画したりしています。子どもたちと「お助け隊」と呼ばれる地域の先生たちとの交流の様子を、方言を交えながら生き生きと紹介してくださいました。

伊藤氏は、にかほの魅力を知ってもらおうと冬の自然散策を企画実施した様子を紹介しました。春夏秋冬のオンシーズンは見られない「雪国秋田の冬」ならではの厳しい自然と、そこに暮らす生き物の跡を、スライドを交えながら魅力たっぷりに話してくださいました。

能登氏は、自宅スペースをいわば私設公民館のように生涯学習や地域活動の場として市民に提供し活用しています。様々な会に携わっている立場を活かし、「地域住民」「外部の達人」「行政」の三者を「まちづくりのトライアングル」と位置付け、「一人ひとりが輝ける場所づくり」を目指して行っている活動の様子を生き生きと紹介してくださいました。



交流タイム

今年は、12組の行動人の皆さんが活動紹介の展示を行ってくださいました。「音楽」「演劇」「スポーツ」「お笑い」「国際理解」「川柳」「和紙」「着物」「わの道」「ボランティア」「絵本」「自然」…。秋田には数えきれない分野に、数え切れないほどの行動人がいて、それぞれの舞台で生き生きと活躍しています。

地方創生の時代といわれている今、生涯学習・社会教育がその先陣を切るくらいの気概をもって地域を盛り上げていきたいものです。

あきたの生涯学習—まなびピア 21— 第52号 (平成28年3月1日)

編集・発行／秋田県生涯学習センター 〒010-0955 秋田市山王中島町1-1

(TEL) 018-865-1171 (FAX) 018-824-1799 (E-mail) sgcen002@mail2.pref.akita.jp

まなびサポート秋田

<http://lifelong.akita-kenmin.jp/>

秋田県生涯学習センターWebサイト

<http://www.pref.akita.lg.jp/lifelong/>

行動人Webサイト

<http://lifelong.akita-kenmin/koudoubito/>

